

第 79 号 地域開発みちの会



みちの会 だより



<http://www.aichi.michinokai.cc> 発行責任者 片桐 眞砂子

*** ** 「未来へ活かす男女共同参画 Part II」 *** **

「ねむの木学園」みちの会研修旅行報告

平成 26 年 9 月 17 日 (水)



「ねむの木子ども美術館」

新秋快適な日、最初に資生堂企業資料館・アートハウスを見学。次に「煮物やのら」で大きなお椀に驚かされながらも美味しく空腹感を満たし満足しました。その後 14 名を乗せたバスは目的地である女優宮城まり子さんが設立した肢体不自由児のための養護施設「ねむの木学園」へと走りました。はやる心で緑茂る木々の一本道をたどると、山の奥にねむの木学園のカラフルな可愛い建物が見えてきました。子ども美術館では素晴らしい原色使いの細やかな作品に見入ってしまいました。吉行文学館もその時代を思わせる資料がいっぱいで目を見張るばかりでした。施設見学では、隠れた才能を引き出すことを考えられた家具・日用品などを始め、普段の生活空間まで配慮している施設でした。無学年教育、集中感覚教育、グループ学習、生活指導と学校教育の一体化。お母さんはまり子さん、職員はお兄さんお姉さん、家族としての学園生活です。又、積極的な対外活動や文化的な教育に子ども達に対する愛情の深さを感じました。学園生達の歌声は素晴らしく、いつまでも心に残っています。(大野)

▶参加者感想より



「やさしいね、やさしいね、やさしいことは強いことよ」穏やかな人の心の触れ合いが人をやさしくする。子ども達の合唱に感動。随所に宮城まり子さんの愛があふれていました。学園生の絵と合唱を聞いて、その芸術とも言える才能に改めて感動しました。彼らの純粹さとひたむきさに心が揺れる、こみ上げる感動がある。ひとりひとりの子ども達が持つ能力を周りの大人がいかに大切にしていくなか、障害を持つ子どもだけの問題ではなく、自分の周りの人を認め合うことの大切さを改めて思い知らされた。時間がゆっくり流れている。

「ひと」が大切にされている。寄り添い待つことの時間と忍耐を思う。ねむの木を作ったまり子さんの大きさ、人としてのスケールの大きさを強く感じました。女性がトップである組織の神経の細やかさと感性の豊かさを感じた。

その他、沢山の感想を頂きました。
ご協力有難うございました。



ねむの木学園前

■第2回 全体会報告

東海市市民活動センターにて

6月28日(水)13:00~14:30迄

- 議題：1. 会則プロジェクト報告
2. 議員と語る会について
3. 研修旅行について
4. フォーラム企画について

会則について、主に下記の4点について意見交換をした。

- ①会計監査に事業監査を含むかどうか
 - ②事業計画を活動計画にするかどうか
 - ③幹事会を運営委員会にするかどうか
 - ④総会成立の条件について、総会定足数の
会員1/3以上を1/2以上にするかどうか
- フォーラム：H27, 2, 1(日)東海市しあわせ村にて開催予定。講師について、金額、日程等の交渉は幹事・幹事会に一任を確認。
(議事録より)

■第3回 全体会報告

東海市市民活動センターにて

9月24日(水)10:00~12:00迄

- 議題：1. 会則プロジェクト案の検討
2. フォーラム企画報告・内容について
講師：元滋賀県知事 嘉田由紀子氏
3. 議員と語る会について
詳細について確認、勉強会
4. 研修旅行報告 他

今回の全体会では、前回全体会の意見より整理された会則改正案の文言・内容について、総会で問題となった委任状の扱いについて、多くの意見交換が行われた。
(議事録より)



「次世代にむけてのまちづくり —あなたの力が必要なの!—」

東浦町

ここ数年、東浦町では各コミュニティで『まちづくり実行委員会』が立ち上がり話し合いが行われてきました。話し合いによってさまざまな活動が始まっています。しかし、現状はなかなか難しいです。男女差はもちろん、年齢差、意識の差があります。「誰か」がではなく、「共に」という意識が大切です。また『まちづくり』には、若い人、特に子育て中の人に多に参加してもらいたいと思っています。

そこで、今回の講演会「次世代にむけてのまちづくり—あなたの力が必要なの!—」を開催しました。講師は、女性のコミュニティ会長として活躍している南粕谷の石井さんにお願しました。今後のコミュニティに自分がどう関わっていけばよいか、何ができるかなど、この講演で少しでも感じとってもらうことができればとの思いで企画しました。

男女間・世代間のカベを乗り越えバランスを取りながら、課題を一つひとつ解決へと導いてきたこと。課題を発見したらすぐに行動するという『地域力』を育ててきたこと。そして、同じ方向を見、同じ思いを持つからこそ意見が衝突してもうまくいくこと。それも大切な資源・宝であること。などの話から困難なカベを一つひとつ乗り越えてきたという力強さと地域への愛情を感じました。東浦町でも地域づくりの中で、様々な場面で「私の力を発揮してみよう」との思いを持ってくれる人が一人でも増えればと、思いをより強くしました。(山崎 宏子)



「ESDってなんだろう〜知ってるほど、なっとく！」

常滑市

7月13日(日)、講師に飯尾歩氏(中日新聞論説委員)を迎え、とこなめ市民交流センターで「ESD」の学習会が開催されました。

ESDとは、「Education for Sustainable Development(持続可能な開発のための教育)」の略で、持続可能な開発を実現するために発想し、行動できる人材を育成する教育であり、今ある大切なものを次に引き継ぐために必要な知識を得ることだ。」と講師は言いました。

1992年の地球サミットのリオ宣言に、「女性は、環境管理と開発において重要な役割を有する。彼女らの十分な参加は、持続可能な開発の達成のために必須である。」とあります。持続可能な社会のためには、女性の活躍が重要です。

日本の食文化である土用の丑にうなぎ。しかしニホンウナギは絶滅危惧種にされました。これをどうすればいいか。未来の消費者と分かち合うため、うなぎは、「暑気払いやハレの日のもの」にしませんか。うなぎ、マグロ、エネルギー、平和、環境、家族への愛、「・・・子や孫がその恵みを楽しむために、今、私たちは何をすべきか考えてみましょう。」

(飯尾美智子)

『やさしく学べる男女共同参画』

美浜町

「平等の考え方には二種類あるの、『機会の平等』そして、もう一つは『結果の平等』。」

9月26日美浜町生涯学習センターにて、みはま男女共同参画をすすめる会主催の講演『やさしく学べる男女共同参画』での柴田良枝先生(星城大学教授)のことばだ。飴の分配を例に、『結果の平等』をわかりやすく話していただいた。ポジティブ・アクションをこれほど簡単に説明するとは・・・すごい!

快活な口調、内容も軽妙で痛快、笑いが絶えない、それでいて、男女共同参画の日本の状況、必要性、歴史などがよくわかる講演だった。

(「みはま男女共同参画をすすめる会」は、美浜町における男女共同参画社会の実現を目的に設立された自主組織。保育園、幼稚園の保護者対象のミニ講座の出前など、地道に活動している団体です。)

(大寄暁美)



野口健さんの講演より

名古屋市

9月15日、名古屋市の環境デーESD記念シンポで野口健さんの講演があった。野口さんは七大陸最高峰最年少登山を果たしたアルピニストであり、富士山清掃登山などの環境活動家でもある。「著名人の社会貢献」の綺麗事ではない彼の体験には驚くことが多かった。ヒマラヤに残された登山家のゴミを持ち帰り始めたのは、山を愛する人の、やむにやまれぬ思いからだ。ゴミの中には日本人の物が多く、彼の活動は山の先輩の恥を曝すものだと一部から非難されたそう。富士山清掃登山は、田部井淳子さんの「白い川」をなんとかしたい、(次へ)

「明日がみえない」3回セミナー

名古屋市

貧困・困難を抱えた女性と子どもについて学ぶための3回セミナーが毎回講師を変えてウィルあいちで開催された。1回目は7/27大阪2児置き去り死事件にみるシングルマザーへの支援という内容でノンフィクションライター杉山春氏の講演があった。丁寧な環境調査から、暖かい家庭を望みながら誰からも応援されずひとりで頑張り続けて糸が切れてしまったシングルマザーの悲しい結末は痛ましく感じた。満蒙開拓団のときと同じことが、今のこの日本で起こっていると杉山氏は表現した。子どもを抱えて性を売ることしか生きていけない女性達が声を上げることも知らずにいる。セーフティネットが性風俗であるということは今も昔も同じではないか。

8/3、困難を抱える若者の事例紹介。8/10、「女性の貧困を考える」東京学芸大学准教授山口恵子氏講演。行くのを迷うくらい台風で雨風強かったにも関わらず、多くの人に来ていて質問も多くあり、関心の高さに驚いた。

(水野ゆうこ)

という言葉から始めた。以前は山小屋から流れ出たトイレットペーパーが川状に続いていたとか・・・。富士山清掃登山は観光事業の関係者には快く思われなかった。彼は、「富士山はまだ世界遺産にならない方が良かった。」とまで語った。「青木カ原樹海には廃棄物が堆積し、特に医療系廃棄物が多く、危険極まりない。廃棄業者は闇の世界に繋がっている。」「富士山の世界遺産は仮免状態で、3年後に見直しがある」等々、今も彼の話は耳に焼き付いて離れない。いろいろと利害の絡まる中で、悩みながらも一生懸命関係者に話しかけてきた真摯な姿に心を打たれた。3年後多くの環境問題を改善し、「世界遺産・富士山」の本免許が取れると良いですね。(森田登喜子)

【今後の活動のお知らせ】

■ 「議員と語る会」(通算 16 回目)

10月23日(木)13:30~16:00迄、東海市民活動センター大会議室にて、各市町の議会議員をお迎えして、今年度は「男女共同参画プランから見る子育て支援と女性の働き方」についてグループに分かれて意見交換をします。

Aブロック(名古屋市) からののお知らせ

《みちの会ウィルあいちフェスタ参加企画》

「2014女性の人生スゴロクを作ろう! ~女性と子どもの貧困について考える~」

日時:2013年11月15日(土) 10:00~11:45

場所:ウィルあいち 3階 セミナールーム6

定員:先着30名(無料/要予約)

女性の人生スゴロクを作りながら、世代を超えて学びあいましょう。



Bブロック(南知多町、美浜町、武豊町) からののお知らせ

「楽しもう ひろげよう 子とともに」

日時:11月24日(月、祝)13:30~15:30

場所:南知多町総合体育館 会議室(2階)

内容:「ラミネート工作」 プランとその進捗状況について発表

講演:『我が家の子育て 地域の子育て』

講師:荒井やす子先生(武豊町子育て支援センター 長)

参加費:無料



■ 第27回 みちの会フォーラム

平成27年2月1日(日)東海市しあわせ村にて、講師に元滋賀県知事・嘉田由紀子氏をお迎えし開催決定。詳細につきましては、後日お知らせします。お誘い合わせのうえ、多くの皆様にご参加頂けますよう、お願い申し上げます。



—編集後記—

- * 御嶽山の噴火・水害・土砂崩れ・津波・地震・・・大きな自然の力!自分に来ることは、危険情報収集 危機管理・危険回避行動・直感・運(>_<)・・・今を大切にして後悔のない人生を
- * まずは、自分を守る為しっかり備えなければ誰も救えません。

たくさんの原稿をお寄せ下さり、大変有難うございました。

御意見・問い合わせは メールにてお寄せ下さい (編集委員 水野・大野)

地域開発みちの会 <http://www.aichi.michinokai.cc/toiawase.html>